

# 第43回獣医学特別セミナー

「脳動脈瘤の病態と治療に関する研究」

柔道家・大学人としてのメッセージ

演者：永廣 信治 先生

徳島大学病院 病院長

前 脳神経外科 教授

2018年 9月21日 (金) 16:30-18:00

獣医学研究科棟4階 大講義室

脳動脈瘤破裂によって起こるくも膜下出血の死亡率は高く、約半数は死亡ないし高度障害をきたす。未破裂の脳動脈瘤は成人の2-5%に発見され、うち0.5-1.0%に破裂をきたすが、脳動脈瘤の形成や増大、破裂機序が十分に解明されていないので、有効な薬物治療はいまだなく、破裂予防の治療としては開頭手術またはカテーテルで脳動脈瘤を処置するしかない。

動物で脳動脈瘤の発生や破裂によるくも膜下出血がどの程度起こるか定かではないが、実験的に脳動脈瘤を作製することはできる。私たちは、脳動脈瘤が更年期女性に多いことをヒントに雌ラットを用いて卵巣摘出（エストロゲン欠損）、腎動脈結紮（高血圧誘導）、一側頸動脈閉塞（血行力学的負荷）を加えることで、新しい実験脳動脈瘤モデルの作製に成功した。このモデルを用いて脳動脈瘤の形成、増大、破裂機序の解明と有効な薬物治療の確立をめざし基礎的、臨床的研究を重ね、その成果を報告してきたので紹介する。

さらに私は脳神経外科医として診療・手術を行い、且つ大学人として教育・研究に精力を注ぎ、同時に幼い頃から親しむ柔道にも関わり続け生きてきた。講演の中では、私の人生経験から考える「大学人としての生き方」についてメッセージを伝えたい。

連絡先：田浦保穂（5928）、柳田哲矢（5914） 島田 緑（5909）